

令和4年度 学校経営計画

学校番号	19	学校名	静岡県立天竜特別支援学校	校長名	高橋 定裕
------	----	-----	--------------	-----	-------

1 目指す学校像

合言葉 『みんな 笑顔で 分かち合う』

(1) 教育目標

隣接する天竜病院及び関係機関と連携し、全教職員が総がかりで
「自ら病気に向き合い、自信をもって社会参加できる人」を育てる。

《めざす児童生徒像》

- ・自分の病状を理解し、自己調整できる人 【自分の身体を知る・自己理解】
- ・自他の良さに気付き、自信がもてる人 【主体的な表出や行動・自他の良さへの気づき】
- ・周囲の人や物と関わり、より豊かに生きようとする人 【関わる力・助けを求める力】

(2) 目標具現化の柱

- ア 《守る》児童生徒の命を守り、心に寄り添い、人権を尊重した安全で安心な学校
- イ 《育む》病弱教育の専門性の向上を目指し、児童生徒の心理的な安定や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校
- ウ 《つなげる》保護者・天竜病院・天竜厚生会・原籍校・関係機関との連携やセンター的機能を発揮し、支援・助言できる学校
- エ 《チーム》教職員が互いに支えあい、チーム意識を大切にした、働きやすい学校

2 本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

(1) 《守る》児童生徒の命を守り、心に寄り添い、人権を尊重した安全で安心な学校

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
守る	・教職員の人権感覚と実践向上のための研修会を実施する。	・人権月間や人権チェック、人権研修の内容を意識した指導や支援、実践にあたることができたと答える教職員 90%以上	生徒指導課 各学部
	・児童生徒の実態や課題に応じた道徳教育や特別の教科道徳の指導を充実する。	・心豊かに主体的に生きる力をはぐくむための道徳性を養うため、道徳教育全体計画に基づいて道徳教育や特別の教科道徳の指導を行うことができた教員 80%以上	
る	・学校再開につながる防災計画策定の充実を図る。	・学校再開計画について計画的に研修を行い、研修後備えと対応力が身についたと答える教職員 80%以上	危機管理課 生徒指導課
	・命を大切にする安全・健康教育や危機管理の体制と災害に備える教育を実施する。	・学校安全計画、学校保健計画に基づいた防災教育・保健教育を実施できた教員 90%以上	

(2) 《育む》病弱教育の専門性の向上を目指し、児童生徒の心理的な安定や確かな成長を支え、病状や特性に応じた授業ができる学校

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
育む	・キャリアステージ対応研修やOJTの取組を効果的に実施する。	・キャリアステージ研修やOJTの取組により、特別支援教育の基礎・基本の理解が深まった教職員 100%	企画会 研修課

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
育 む	病弱教育の専門性の向上を図る。	・多様な障害特性に対応する授業づくりや、児童生徒の特性に合った方法で学んだり体験できたりする授業づくりを実践する。	・児童生徒の目標達成のために、ICT機器や教材教具等を効果的に活用した環境を設定し、指導や支援を実践した教員 100%	自立活動課 各学部 情報課 事務部
	※個別の教育支援計画、個別の指導計画とつながった授業実践	・作成した整理図と個別の指導計画とのつながりを明確にした自立活動を実践する。	・整理図をもとに適切な目標と指導内容を設定し、児童生徒の成長を促す実践ができた教員 100%	自立活動課 教務課
		・「主体的・対話的で深い学び」のある授業を実践する。	・一人一授業の実施や研修会を通し、「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業改善を行った教員 90%以上	研修課

(3) 《つなげる》保護者・天竜病院・天竜厚生会・原籍校・関係機関との連携やセンター的機能を発揮し、支援・助言できる学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
つ な げ る	みゅうの丘や他機関との連携により、協同学習を充実させる。	・みゅうの丘や外部機関との連携を構築し、外部人材・外部機関を活用した指導・支援の充実を図る。	・みゅうの丘や外部人材、外部機関を活用した教育活動を実践した教員 100%	各学部 進路支援課 みゅうの丘 事務局 教科等部会
	個別の教育支援計画に基づいた連携体制を確立する。	・個別の教育支援計画に基づき、本校在籍前後の学校や他機関、保護者と連携して支援や助言を行う。	・個別の教育支援計画を基に、本校在籍前後の学校や他機関、保護者に支援や助言をし、連携できた教員 80%以上	教育支援課 進路支援課

(4) 《チーム》教職員が互いに支えあい、チーム意識を大切にしたい、働きやすい学校

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署	
チ ー ム		・退勤時刻の自己管理をする。	・自分が設定した時刻に 80%以上退勤した教職員 100%	職員安全衛生委員会
	「チーム天特」による全員参加の業務改善	・目的や実態に合った内容の活動計画であるかを見直すことで、業務を精選する。	・行事や手続き等の見直しを行ったり、提案したりした教職員 80%以上	各学部 各分掌
		・時間設定による会議の効率化や書類のコンパクト化による業務の効率化を図る。	・効率的な会議の工夫を行うことができたり、書類の簡略化や各種マニュアルを参考にしたりすることで、業務がスムーズになったと感じる教職員 80%以上	各学部 各分掌 事務部